

議事録:2025 年度 第 1 回教育課程編成委員会(ホテルブライダル科)

会議概要

- 日時:2025 年 9 月 25 日(木) 10:00~11:00
 - 場所:YIC 情報ビジネス専門学校 2 号館 学生ホール
 - 出席者:
 - 委員:
 - 眞田 直也 様(一般社団法人山口観光コンベンション協会 専務理事)
 - (欠席:長村 崇 様(山口グランドホテル 婚礼部責任者))
 - 学校側:
 - 河津 道正(校長)、小田 政江(副校長)、三船 龍(事務長補佐)、森野 茂弘(教務課長)、豊田 菜摘(ホテルブライダル科 学科長)
-

議題別の議論詳細

【校長挨拶・委員紹介】

- 説明内容:
 - 河津校長より、年度末の多忙な中での出席に対し謝辞が述べられた。
 - 2026 年度より学科改編を行い、名称が「ビジネス科」へ変更される予定であることが報告され、内容のさらなるブラッシュアップに向けた意見が求められた。

【ホテルブライダル科の取組みについて】

- 説明内容(学科長):
 - 在籍状況:2 年生 9 名、1 年生 12 名(当初 14 名、休学 1・退学 1)。2026 年度は留学生 1 名を含む 14 名が入学見込み。
 - カリキュラム:接客業の必須項目である「ビジネスマナー」と「電話応対」を強化。また、SNS での情報発信や動画編集スキルを学ぶ「WEB スキル(Canva 等活用)」を導入している。

- **実習:**2年生後期は内定先企業での実習を積極的に行い、即戦力としてのスキルを磨いている。

【検定目標・就職内定状況】

- **説明内容(学科長):**
 - **検定結果:**コミュニケーション検定初級、Excel 表計算処理技能認定試験 2 級などは合格率 100%を達成。一方で Word3 級やホテル実務検定初級などは目標に届かなかったため、再受験に向けた指導を継続する。
 - **検定の見直し:**ウエディングプランナー検定について、難易度を考慮し従来の IWPA から WBJ(ウエディングプランナー検定)への変更を検討中。
 - **就職内定:**2025 年 9 月 15 日時点で内定率 100%を達成。県内のホテル・式場のほか、東京のドレスコーディネーターやイベントプロデュース企業など、全員が業界内への就職を決定している。

【連携授業・主なイベント】

- **説明内容(学科長):**
 - **コンクール:**電話対応コンクール山口県支部大会に出場し、新人賞や審査員特別賞を受賞。
 - **地域連携:**徳山動物園での大規模婚活イベント「やまコン」の運営補助(11/16)や、美容学科とのコラボイベント「ヘアメイクライブ」などを実施。
 - **リアルウエディング:**10 月 12 日に近隣式場(エミリア)にて本物の結婚式をプロデュース。顧客との打ち合わせから表なしまでを行い、学生の大きな成長につながった。

【業界の課題と次年度の取り組み】

- **説明内容(学科長):**
 - **課題:**慢性的な労働力不足、価格競争の激化、AI/IT 導入への対応、ブライダル需要の小規模化が課題。
 - **対策:**現場で自ら考え動ける学生を育てるため、「デュアルラーニング(座学・演習・実習の循環)」を導入。サービススキルやプロデュース業務の授業を通じて、集客やプランニング能力、IT 対応力を養う。
 - **2026 年度学科改編:**医療事務学科と統合し「ビジネス科(定員 40 名)」を新設。ホテル観光ブライダルコース等を含めた 3 コース制で、マルチに対応できる人材を育成する。

【質疑応答・意見交流】

- 眞田委員：
 - 観光協会でもライトアップイベントや FM 山口との連携事業など多くのイベントを実施しており、学生に参加してほしい。特に若者の視点での企画提案は大歓迎である。
 - 「萩往還(はぎおうかん)語り部の会」のガイドが高齢化(70～80 代が中心)しているため、若い学生が担手となってくれることを期待している。ボランティアではなく、有償の「副業」として成立する仕組みを整えている。
 - 観光庁や著名プロデューサーによる無料のウェビナー(マーケティングや DX がテーマ)が充実しており、授業の 1 コマとして活用することを推奨する。
 - 豊田学科長：
 - 学生に「萩往還ガイド」を紹介し、まずは一緒に歩くなどの体験から進めていきたい。また、企画から集客までを学生が行う PBL 授業を展開できるよう、観光協会への相談を継続したい。
-

決定事項・承認事項

1. 2026 年度の学科改編(ビジネス科への統合)に伴う教育課程の基本方針を承認。
 2. ウェディングプランナー検定の協会変更(WBJ への移行)およびイベント検定の新規導入を決定。
 3. 地域・企業連携の強化:観光協会との連携によるイベント運営参加や、学外実習を単位として認める「連携授業」の推進。
-

今後の課題・次回予定

- 課題：
 - 行政や企業のイベントへの具体的な関わり方と調整方法の確立。
 - 「ビジネス科」新設に伴う学生募集の強化(留学生募集を含む)。
 - 眞田委員より提案のあった「萩往還ガイド」の体験・実習化に向けた細部調整。
- 次回予定：
 - 2026 年 2 月～3 月頃に開催予定。